

北風と太陽

香芝市立香芝北中学校通信

NO.6 2024.4.30 文責 上谷基博

生活リズムを崩さないで!!

3連休明けの今日。GWの前半が終了しました。夜更かしや暴飲暴食など、生活リズムが崩れてはいませんか？

4月開幕ダッシュをバッチリ決めたのに、GWで一気に生活リズムが崩れ、体調不良や精神不安定状態に陥ってしまうようなことがあってはならないよね。



今週3日間過ぎすと、GWの後半戦4連休となります。生活が乱れないように十分気を引き締めながら、有意義な連休になるように心がけてほしいと思っています。

GWが終わったら、3年生はすぐに2泊3日の修学旅行に出発です。多くの方にとって、3年間の中学校生活の中でも1,2位を争うぐらい楽しみなイベントだと思います。思いで深いものにするためにも良いコンディションで出発したいものです。1,2年生のみなさんも校外学習ですね。それぞれ京都、神戸に出かけます。事前準備もぬかりなくお願いしますよ。前の日になって「あれがない、これがない」ってならないようにね。

復習に力を入れるべし。ワーク類をこの機会にやっちゃおう!

部活動中心のGWを過ごす人も、家族で出かけるって人もいるかもしれないね。しかし、この期間であっても学習習慣の確立を目指すことは大切です。GW期間、何の学習もしていないはNG! 授業もどンドン進んでいるでしょう。学んだ内容をきちんと定着させるには復習することが重要です。副教材としてワークを持っている教科も多いと思います。理想はその日授業で学んだ部分に該当するワークの問題を、その都度やること。定期テスト前の勉強会に行くと、たまりまくったワークを解答を横に置きながらやっている光景がよく見られます。正直この方法は良くないよ。ほとんど実力にはつながらないです。とりあえず今まで授業でやった部分をこのGW中にきちんと仕上げてみよう。



グランドデザインについてお話しします。

グランドデザインというのは「生徒や保護者、地域の願いや期待を踏まえ、学校が目指す学校像や育成したい生徒像を描き、その実現を図るため、学校教育全体の中でどのような方策を考え、組織的に取り組んでいるのかを示した基本構想」のことです。

ここ数年年度末に行った学校評価アンケートにおいて「グランドデザインの内容を知っている」という設問に対する回答が生徒2.4、保護者2.2(4点満点)と、とても低い結果になっています。上谷



の働きかけが弱かった結果だと受け止め、今年度はいろんな機会を通じてしっかり伝えていきたいと思っています。

最初に【学校教育目標】ですが、『予測困難な時代をたくましく生き抜き、よりよい社会の創り手となる生徒の育成』としています。

前半部分としては上谷が中学生だった頃(4年以上前です...)に比べて、いろんなことが便利になった半面、社会情勢だったり、度

重なる自然災害だったり、みなさんを取り巻く様々なことが原因で、生きる

ことが困難な時代になっていると思います。そんな時代をみなさんにはたくましく生き抜いて行ってほしいと願っています。そのためにも「折れない心」を持ってほしいです。「上手く行くこと」より「上手く行かないこと」の方が圧倒的に多いですし、「楽しいこと」より「楽しくないこと」の方が多くあります。それをきちんとわかった上で、数少ない「上手く行くこと」や「楽しいこと」を当たり前と思わず、感謝の気持ちを持ち、「上手く行かないこと」や「楽しくないこと」にその都度腐るのではなく、折れずに「なにくそ!」的な気持ちを持ってほしい。



後半部分は、この世に生を受けたからには社会に貢献できる人材になってほしいという願いを込めました。そのためにも「自分達が主役」という認識の下、委員会活動や生徒会活動、または人の役にた立つ活動を積極的に進めて行くことが大切です。いろんな機会を通じてチャレンジしよう!!





次に【目指す学校像】ですが、『生徒が今日も行きたいと思える学校、保護者が今日も行かせたいと思える学校、教職員が今日も頑張ろうと思える学校、地域の方が応援したいと思える学校』としました。

このような学校にするのは正直簡単なことではありません。いろんな考えの人、いろんな環境の人がいますので、どの人も同じように感じるの理想なのかもしれません。だからこそ、みんなで目指したいんです。一人の力じゃ達成出来ないことだからこそ、みんなで力を合わせて達成したい。一人一人が「良い学校にしたい!」「この学校が好きや!」という気持ちを持つことができたなら、実現可能なんじゃないでしょうか。

次に【目指す生徒像】のお話をしますね。4つあります。

1「自ら学び、自ら考え、自ら行動に移すことができる生徒」

昨年度までは2番目でした。またマイナーチェンジし、「自ら」を1つ1つにつけ、トップにもってきました。何でもそうですが、上達しようとかワンランクアップさせようとか思うなら、人から言われたことだけをやってたんじゃアカンし、さしたる成果は望めません。中学生、特に男子の特徴として「群(む)れる」があります。自分一人で何かをしようとしなくて、人と同じ行動をとろうとします。場合によってはそれも必要です。そうする方が安心なのかもしれないけど、それじゃなかなか「個」が育たないです。自分の意思をしっかり持って、状況を判断し、例えそれが他の人と違ってたとし、勇気を持って一歩踏み出す。これがすごく重要です。そういうことができる人たちがひとたび力を合わせると超超超強力な集団が生まれます。そのためにも目指せソロ活動!!



2「進んであいさつができる生徒」

どんな職業についている大人の方に聞いても口を揃えておっしゃるのが、「あいさつの大切さ」です。第一印象はあいさつで決まると言ってもオーバーじゃないよね。

上谷は毎朝校門に立って登校してくるみなさんをはじめ、通りかかる車やバイク、自転車の方にあいさつをしています。自分の生き方としてやっているの、すごく楽しい時間です。本当にすがすがしいですよ。良い1日



が始まる気がします。

校門に入って来るみなさんですが、いろんな人がいますね。上谷より先に「おはようございます!」と声をかけてくれる人、上谷の「おはようございます!」に答えるように「おはようございます!」を返してくれる人、上谷の「おはようございます!」にチョコッと首だけ動かす人、上谷の存在は空気のごとく、全くスルーして通り過ぎる人…。上谷とし

ては自分の生き方としてのあいさつを身につけてほしいと願っています。

3「『ありがとう』『ごめんなさい』が言える生徒」

2.3年生は知っていると思いますが、上谷はこの2つを“魔法の言葉”と呼んでいます。世の中に、何かをしてもらって、何の感謝もせず、それが当たり前だと思ふことなんて一切ありませんよ。「嬉しい!」とか「助かった!」と思うことがあるなら、それに対してきちんと感謝の気持ちを伝えるべきです。それがあると相手も「やって良かった!」とか「喜んでくれた!」ととても良い気分になりますよね。逆に相手に対して何かをやらかしてしまった時や、迷惑をかけてしまった時には素直に謝ることが大切です。きちんと謝れば相手もそれ以上どうのこうのしようとは思わないはず。良好な人間関係を作るためにも、この2つの魔法の言葉が自然に出てくるような生き方をしたいですね。

4「相手の気持ちを想像することができる生徒」

これは今年みなさんにしっかり心がけてほしいとお話したことで共通していますね。直接対話する場面でもそうですが、SNS等による顔の見えないところでの文字を通じた会話、本当に気をつけてください。

昨年度もいろんなトラブルがありました。学年全体で取り組んだこともあったよね。自分にはその気がなくても



相手が不快に感じたり、嫌な気持ちになったら、それは“いじめ”となるのが現在の法律です。言葉を口にしたり、行動する前にちょっと考える余裕を持ちなさい。「これって相手はどう思うかな?」と想像してみなさい。ノリやその場の空気だけで動くのではなく、ちゃんと考えてほしい。これが徹底できれば、トラブルになることもないし、どの人も気持ち良く、楽しく安心して生活できると思います。みなさんには心優しい人になってほしいです。

今回は両面にいっぱい書きました。みなさんにきちんと伝えておきたかったからです。できたら2.3回読み返してほしいな。よろしく願います。

つづく…